



スマートシティの事例

スマートシティがもたらす地域イノベーション

シスコシステムズ合同会社
2016年11月

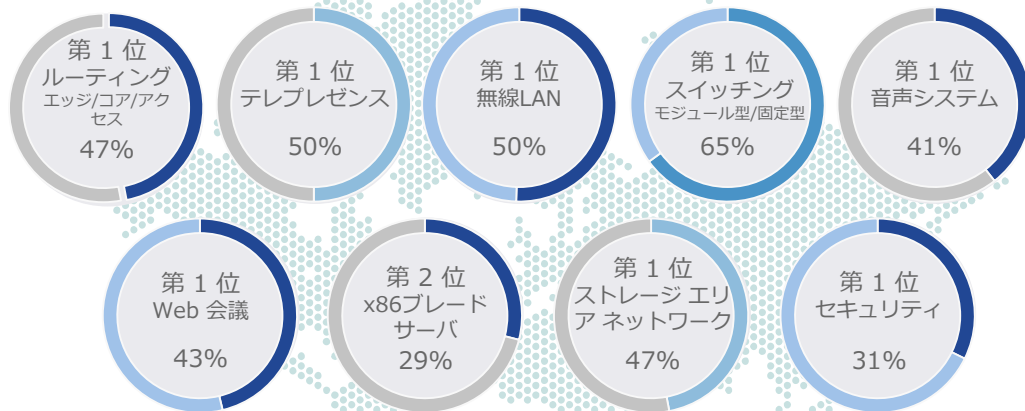
シスコシステムズ 会社概要



社名	シスコシステムズ合同会社
設立	1992年5月22日
資本金	4億5千万円
代表執行役員社長	鈴木みゆき
従業員数	1,130名 (2016年2月)
東京本社所在地	〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー シスコ受付：21階 Tel：03-6434-6500

シスコシステムズ合同会社 会社案内
<http://www.cisco.com/web/JP/about/index.html>

製品市場シェア (グローバル)



本社： シスコシステムズ インク (米国カリフォルニア州サンノゼ)

創業： 1984年 12月10日

従業員： 70,112 名
(2015年 1月)

NASDAQ: CSCO

2015年度

売上高：492億米ドル

純利益 (Non-GAAP)：30億米ドル

Changing the Way We Work, Live, Play and Learn

人々の仕事・生活・遊び・学習の方法を変える

Cisco's Smart City Project In The World

Cisco Has Over 40 Smart City & Smart Building Projects In Over 25 Countries.

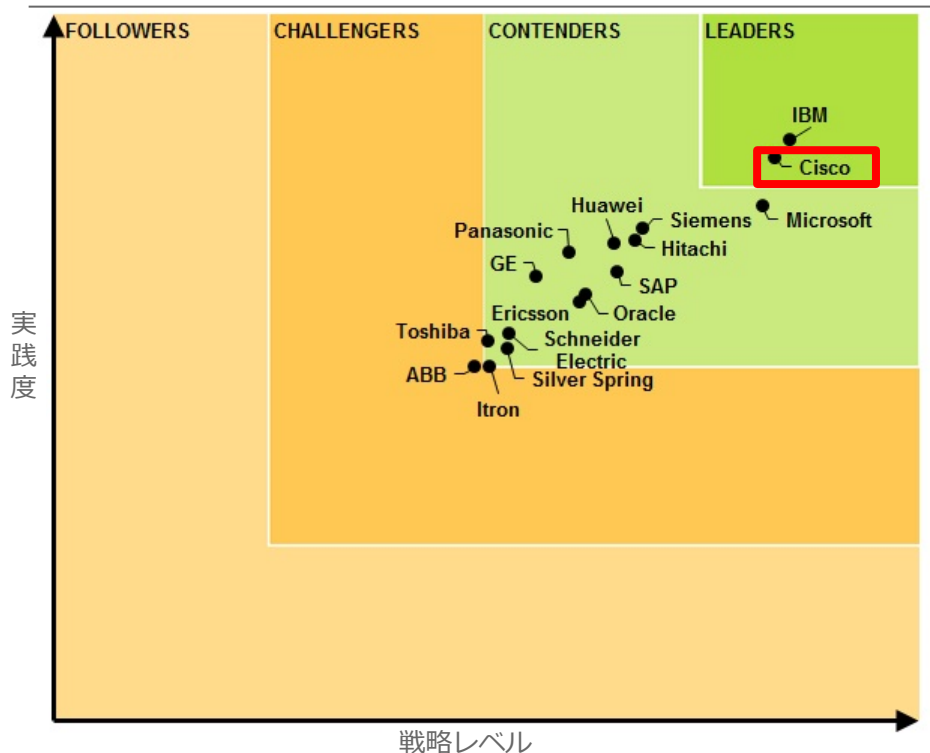
シスコは、世界の 25 以上の国において 40 を超える
スマートシティ、スマートビルディングのプロジェクト経験を有しています。



スマートシティにおけるシスコのグローバルレポジション

シスコは、スマートシティのマーケットリーダーとして評価されています。

Smart City Suppliers Assessment*



- ✓ 2016年3月発表のNavigant Researchのスマートシティテクノロジーマーケットの調査によると、スマートシティの戦略と実践の視点から、シスコとIBMがリーダーの位置付けです
- ✓ IBMがエネルギー等公共サービスに主軸を置いているのに対し、シスコは業界に捉われずスマートシティ全体に対して、製品・サービスを提供しています

出典：*Navigant Research , March 2, 2016

スマートシティの 必要性

□ グローバルの課題

行政の課題: 急速な都市化、経済成長、環境維持

行政の課題

急速な都市化

- 世界の人口の50% が都市に居住
- 2050年には2010年の 1.7倍の人口が都市に居住

環境への負荷

- 都市は世界のエネルギーの60-70%を消費し、温室効果ガスの60-70%を排出

経済成長の鈍化

- 人口・労働力減少
- 先進国の多くは2013年の経済成長率は0-2%
- 経済回復が雇用創出に結びつかない

方向性

急速な都市化により、

- 都市のインフラへの負荷の増大
- 住民の生活の質の維持・コミュニティの維持が困難



CO₂排出規制と環境保持が必要



産業、経済、人材を引き寄せるためには 居住の快適性がより重要



都市のインフラの維持管理は、社会、環境と経済の成否を決定する
これらの課題の解決のためにICTの活用は有効

スマートシティプロジェクトを推進する際の課題

1. 初期費用の捻出・確保

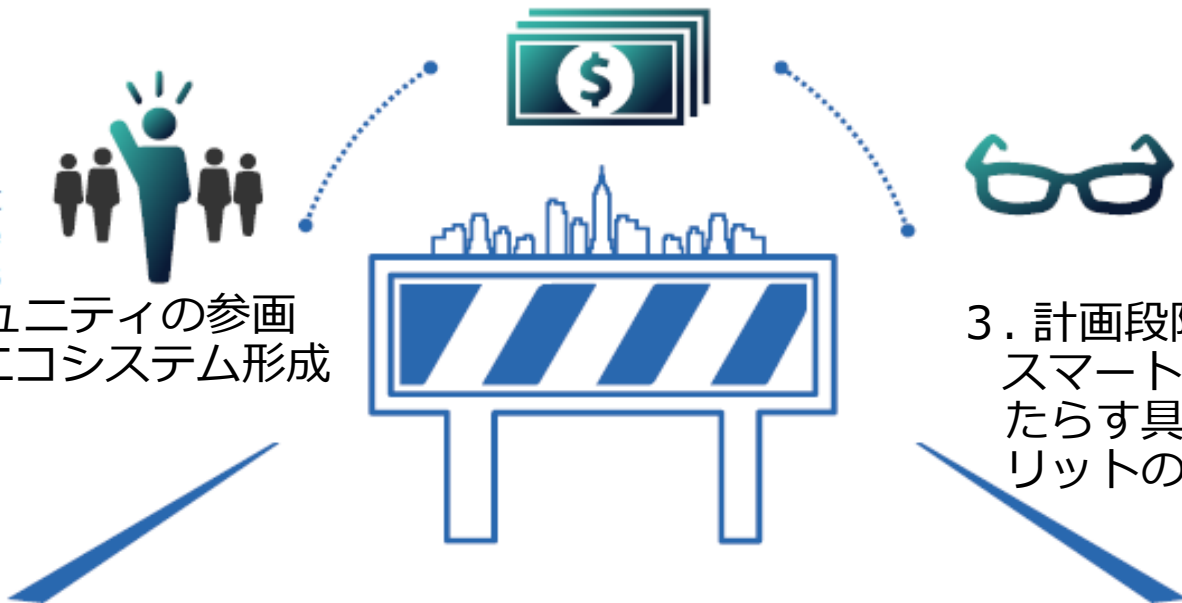
26.2% Inability to Align Funding for a Project up Front

22.1%
Community Not Engaged or at the Same Readiness

2. 住民・コミュニティの参画
官民連携のエコシステム形成

17.1%
Lack of Clarity of the Benefits

3. 計画段階における
スマートシティ施策がもたらす具体的な効果・メリットの整理



スマートシティプロジェクトを推進する際の行政上の課題

1. 費用の捻出・確保

行政リーダーの街づくりビジョンの欠如



Lack of Funding

35.4%

2. 業務の縦割り、部門間連携が困難

17.9%

Departmental Silos and
Lack of Coordination



3. 全体の優先度



Lack of Alignment
on Priorities

35.4%

スマートシティへの期待

1. 都市のインフラ強化
(エネルギー、水、交通 etc.)



2. 都市の国際競争力強化
(観光、ビジネス、経済 etc.)



3. 住民の生活の質や都
市の魅力の向上



スマートシティの 事例

□ グローバルの取組

シスコが支援するスマートシティプロジェクト事例

シスコは、世界の25以上の国で、40以上のスマートシティ、スマートビルディングのプロジェクト経験を有しています。

デジタル化社会
基盤



バルセロナ (スペイン)

行政サービス、街路灯管理、公共施設のエネルギー管理、交通、雨水再利用、スマートパーキングなどWi-Fiを基盤としたスマートサービスを提供。

行政サービスの
効率化

双方向コミュニ
ケーション



ニューヨーク (米国)

City 24/7プロジェクト。
市と連携してWi-Fiを活用した相互コミュニケーション可能な通信基盤を提供。

観光サービス
向上

健康・医療充実
した街作り



レイクノナ (米国)

ICTソリューションを医療、教育分野に活用して、
メディカル都市を実現。

医療サービスの
デジタル化

オリンピック、
パラリンピック
後を見据えた
街作り



バルセロナ、ロンドン、リオ、トロント

FIFAワールドカップ、五輪開催など大規模スポーツイベント後の街作りを実現。

新産業、新サー
ビスによる雇用
創出

バルセロナのスマートシティプロジェクト

2000年から、バルセロナにおいて知識集約型の新産業とイノベーションを創出するための大規模なスマートシティプロジェクトが進行中。Wi-Fiを都市のICTの共通基盤として活用されることにより、サービスや生活に変革をもたらされ、新たなイノベーションの創出により、産業の活性化や雇用の拡大につながっている。

スマート
ライティング

スマートバス

スマートな
水資源管理

スマート
バスストップ

スマート
パーキング

スマートな
ゴミ収集管理

スマートシティにおける経済効果

1. 4,500 の企業増加
(市内他地域より高い増加率。そのうち約半数がスタートアップ企業、約3割が知識・技術集約型企业。)
2. 56,200 の新たな雇用創出
3. 年間89億ユーロ(約1兆円)の価値(取引)増加
(2000年から2010年までの調査に基づく)

Wi-Fi (スマートシティのICTインフラとして活用)

- 整備されたスマートシティの上に、ICT、メディア、エネルギー、医療工学、デザインの研究機関や大学、インキュベーション施設等が集積し、クラスターを構成。企業・研究活動により、イノベーションや新たな価値を創造。
- 2014年3月に欧州委員会 (EC) がバルセロナ市を、ICTを活用した柔軟で持続的なスマートサービスの提供等により、欧州内でもっともイノベーションを起し、生活の質を向上させている都市("iCapital")に選定。

バルセロナ市のWi-Fiを活用したスマートサービス

スマートライティング



- 交通量のセンサ情報を小電力無線、Wi-Fiでコントローラに送り、エリアを適切な明るさに調整して点灯。
- 省エネの実現、市の電気代の削減

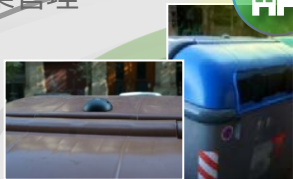
スマートパーキング



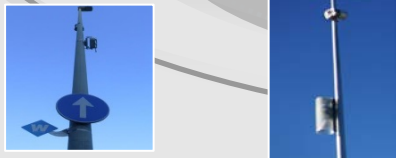
- 駐車場の空き状況を小電力無線のセンサ、Wi-Fi経由で提供
- 市の駐車場収入の増加、渋滞緩和
- 観光客の滞在時間増加による観光収入増加

スマートなゴミ収集管理

- ゴミ収集箱の満杯/空き状況をセンサがWi-Fi経由で提供。
- 市のゴミ収集の経費節減

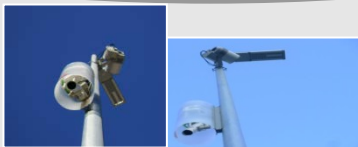


インターネットアクセス



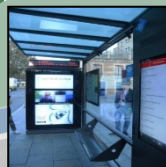
- 市民、観光客向け無料インターネットアクセスWi-Fiスポットの提供
- キャリアのサービスと棲分け、共存

位置情報分析・環境センサー



- 環境センサー（騒音、大気汚染等）
- IPカメラによる不審者監視
- 位置情報に基づく通行人の流れの把握、顧客誘導（クーポン）

スマートバスストップ



- Wi-Fiスポットの提供
- バスの運行情報、その他交通、行政情報の配信
- 広告配信

Wi-FiをICTの共通インフラとしたスマートサービスの提供により、市内に30億ドルの価値を創造 (Cisco調べ)

ニューヨークの電話ボックス

これまで、ニューヨーク市内では、このような電話ボックスが使われていました。



Link NYC - KIOSK

ニューヨーク市の公衆電話が、Wi-Fiステーションへ。2015年、ニューヨーク市内の5区へ、インタラクティブキオスクを10,000台設置しました。



1. ギガビットの速度で24時間365日無料インターネットアクセス
2. 照明
3. 広告や公共サービスを表示するデジタル掲示板
4. Androidタブレット、指向性スピーカー&マイク
5. 911ボタン、USB充電器、ヘッドフォンジャック、キーパッド・点字レタリング
6. 象徴的かつ耐久性あるアルミニウム構造のデザイン
7. 洗練されたデザインと細くなったフットプリントは、歩道のスペースを確保し、視覚的にも飽きないデザイン

City 24/7 - ニューヨークシティ

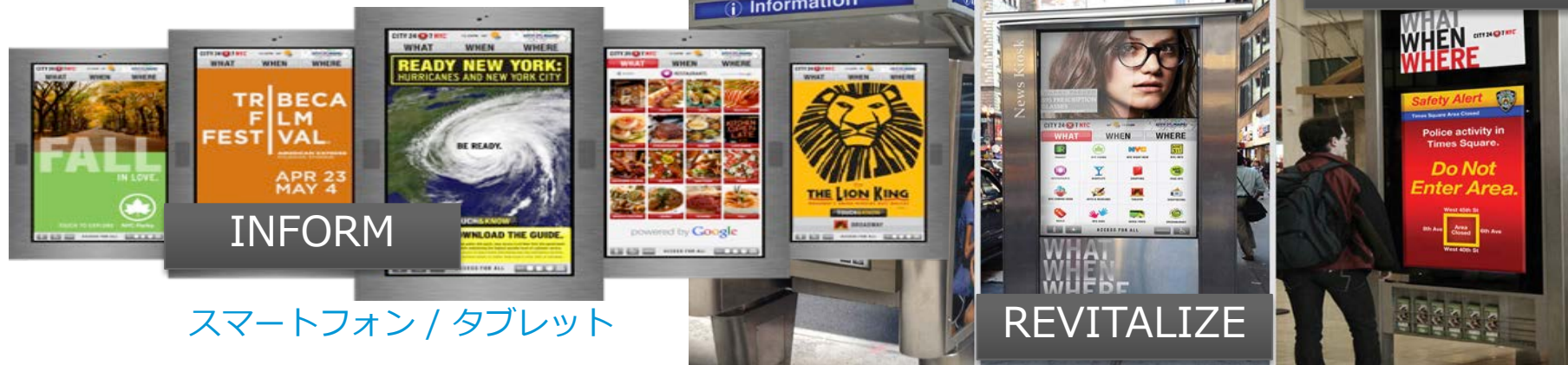
都市活性化への変革

- City 24/7はCiscoとニューヨーク市と共同のプロジェクト。
- 市内を訪れる人々に「必要な情報を、最も役立つ場所とタイミングに」提供する会話型プラットフォームを構築。
- バス停、駅、大通り、ショッピングモール、スポーツ会場などにスマートスクリーンを設置。
- 行政、ローカルビジネスおよび市民からの情報を統合して提供。特に、2ブロック以内のローカル情報やサービスをリアルタイムに配信、周辺のスマートフォン、タブレット、PCにもWi-Fi経由で同様の情報を提供。



WHAT WHEN WHERE

スマートスクリーン



スマートフォン / タブレット

- 効果)
- INFORM : 近隣エリアの最新の情報を提供することにより行政・民間サービスのリーチを拡大
 - REVITALIZE : INFORM/PROTECTの効果により商業、投資、観光がさらに活性化
 - PROTECT : 警察や消防署の情報網を強化し、必要な要員やリソースを適時その場所へ配置可能



シカゴ スマートシティプロジェクト

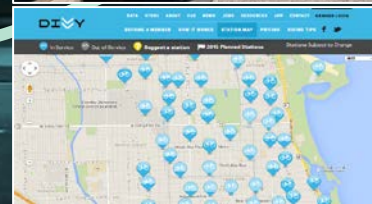
コネクテッド信号機



- 監視カメラとセンサーが歩行者をモニタリング
- 交差点を渡りきる時間を測定 時間内に渡りきれない歩行者がいる場合は信号を延長
- 操作は警察車内のビデオスクリーンを通じて実施



コネクテッド ストリートライト



コネクテッドレンタル自転車



コネクテッドゴミ収集器



コネクテッドバスストップ

スマートシティの 事例

□ 京都府の取組

京都府とのスマートシティ整備拡大に向けた提携

2015年5月18日、環境配慮型都市「スマートシティ」の整備拡大を目的に京都府とシスコの間で提携が取り交わされました。

この取り組みは、ICTなどの先端技術を活用し、交通や医療、防災、雇用、観光といった生活や地域活性における課題を解決し、新しい社会サービスや新産業を創出していくことを目的としています。シスコは Internet of Everything (IoE) へのビジョンを、行政、地域企業や研究機関などと連携し実現化することで、よりよい社会づくりに貢献していきます。



山田啓二知事と協定を取り交わす木下CTO



京都府はシスコのほかNICT、地域企業の日新電機とも提携し、都道府県としては初めての複数企業・機関連携でスマートシティの実現を目指す

環境都市へ企業と提携
京都府、ICT活用し整備
 京都府は18日、ICTを活用し、環境配慮型都市「スマートシティ」の整備拡大を目的に、インターネット・オブ・エブリシング(IoE)の先進技術を活用し、交通や医療、防災、雇用、観光といった生活や地域活性における課題を解決し、新しい社会サービスや新産業を創出していくことを目的として、シスコと提携協定を取り交わした。また、NICT(独立行政法人新エネルギー・産業・総合技術機構)や日新電機(株)との連携による複数企業・機関連携での取り組みも目指す。山田啓二知事は協定締結後、記者会見で「スマートシティの実現に向けて、ICTの活用が重要な役割を果たす」と述べた。

ICT活用へ府、民間と協定
 京都府は18日、ICTを活用し、環境配慮型都市「スマートシティ」の整備拡大を目的に、インターネット・オブ・エブリシング(IoE)の先進技術を活用し、交通や医療、防災、雇用、観光といった生活や地域活性における課題を解決し、新しい社会サービスや新産業を創出していくことを目的として、シスコと提携協定を取り交わした。また、NICT(独立行政法人新エネルギー・産業・総合技術機構)や日新電機(株)との連携による複数企業・機関連携での取り組みも目指す。山田啓二知事は協定締結後、記者会見で「スマートシティの実現に向けて、ICTの活用が重要な役割を果たす」と述べた。



27.5.19



27.5.19

府、機構・企業と協定
 京都府は18日、環境配慮型都市「スマートシティ」の整備拡大を目的に、インターネット・オブ・エブリシング(IoE)の先進技術を活用し、交通や医療、防災、雇用、観光といった生活や地域活性における課題を解決し、新しい社会サービスや新産業を創出していくことを目的として、シスコと提携協定を取り交わした。また、NICT(独立行政法人新エネルギー・産業・総合技術機構)や日新電機(株)との連携による複数企業・機関連携での取り組みも目指す。山田啓二知事は協定締結後、記者会見で「スマートシティの実現に向けて、ICTの活用が重要な役割を果たす」と述べた。

山田啓二知事は「環境配慮型都市「スマートシティ」の整備拡大を目的に、インターネット・オブ・エブリシング(IoE)の先進技術を活用し、交通や医療、防災、雇用、観光といった生活や地域活性における課題を解決し、新しい社会サービスや新産業を創出していくことを目的として、シスコと提携協定を取り交わした。また、NICT(独立行政法人新エネルギー・産業・総合技術機構)や日新電機(株)との連携による複数企業・機関連携での取り組みも目指す。山田啓二知事は協定締結後、記者会見で「スマートシティの実現に向けて、ICTの活用が重要な役割を果たす」と述べた。」と述べた。



27.5.19



京都府スマートシティの取組

シスコは、京都スマートシティ計画の第一弾として、5月21日から京都駅SUVACOおよびけいはんな学研都市精華町にて、IECやWi-Fiを基盤としたデジタルサイネージとシスコDXシリーズによるバーチャルコンシェルジュを活用し、コネクテッドツアリズムの実証実験を開始しました。これは世界には類を見ない日本オリジナルな取り組みです。



京都スマートシティ周遊観光促進事業開始セレモニー
(京都駅SUVACO 2016年5月21日)



Connected Tourism
(左：サイネージ、
右：タッチパネルサイネージ
@京都駅SUVACO)



バーチャルコンシェルジュ
(@京都駅インフォメーションセンタ)

さまざまなモノが
つながること
で実現できる社会

□ 住民ファーストへ

ICTを基盤として構築されるスマートシティ



クラウド
アプリケーション
APP

防犯/監視カメラ

新国立競技場

ウェアラブル
端末

インターネットアクセス
観光エリア

行政サービス利用

ビッグデータ/
オープンデータ
環境や農業のセンシング

安心安全

公園/避難場所
災害情報の収集・配信

大都市
M2M

位置情報連携
サービス

行政・地域

車載システム

観光

デジタル
サイネージ

学校内/教育の利用

テレワークや庁内
で業務利用

Wi-Fiは社会の基盤として、あらゆる地域や用途に利用が拡大



ここまでのまとめ

1. Wi-Fiはインターネットへのアクセス手段のみならず、アプリケーションやサービスを提供し、社会を支える基盤。
2. Wi-Fi網を共通インフラとして活用し、多様かつ効率的な行政サービスを提供することにより、行政コストの削減や、Wi-Fiの効率的な維持運用が可能。
3. 地域のニーズや資源をもとに、地域企業がWi-Fiの上でサービス、アプリケーションを提供することで、地域経済の循環（“ICTの地産地消”）が可能。
4. Wi-Fiを社会基盤として、ビッグデータやオープンデータを活用した「情報資源」をもとに新産業、新サービスを創造し、産業構造・社会生活におけるイノベーションを創出。

悩みと提言

- 持続可能なモデル
- すでにスマートシティ
なのでは

悩み

自立したスマートシティを実現するための「マネタイズモデル」が確立できていない

- オープンデータ、ビッグデータを商売に活かす仕組み作り
- USやEUにおけるスマートシティではPFIを活用するが、日本ではPFIを使う文化ができていない

トップのコミットメントが必要

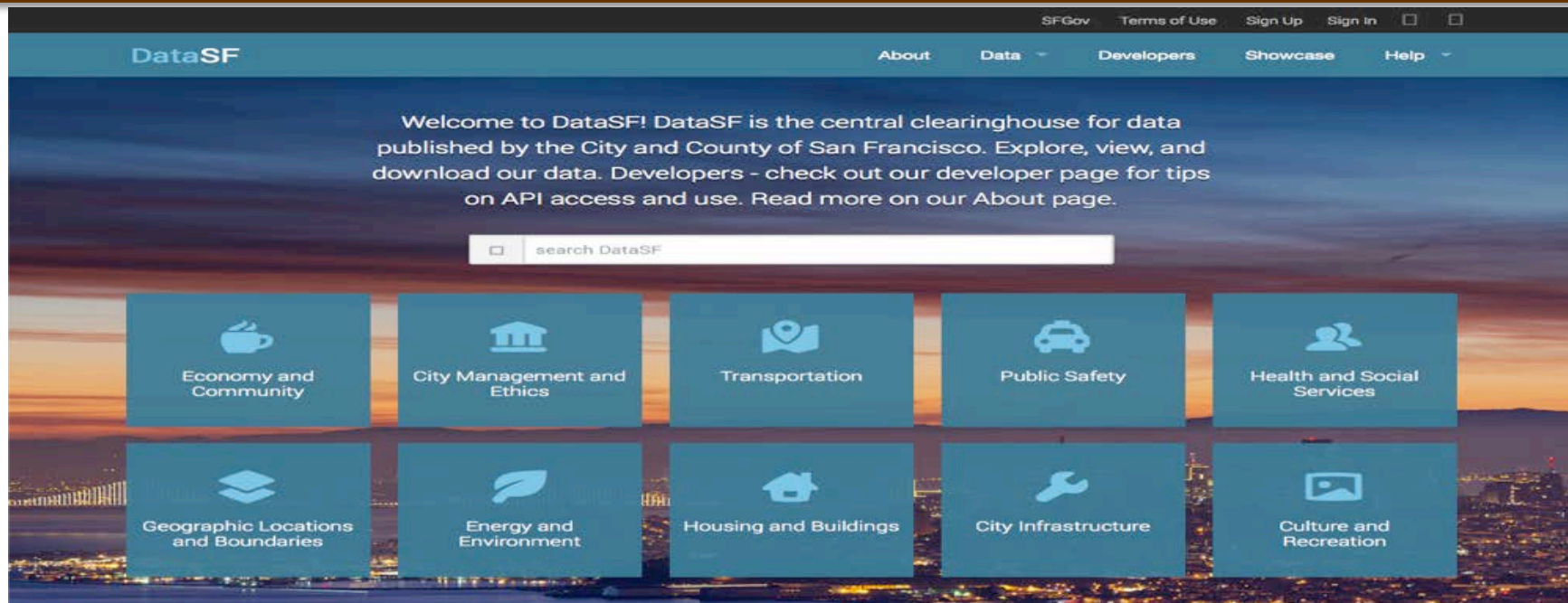
- スマートシティは、計画からROIが出るまでに時間がかかる
- 対象の組織が多く、しかも縦割りのため組織横断の施策となるが、対象組織が全体を把握できていない

住民・コミュニティの参画

- 高付加価値のサービスを受けるためのデータ拠出

オープンデータの事例：DATA SF

サンフランシスコ市は、無償で行政情報のデータを民間に提供し、地域の企業・NPO法人・個人で利益を上げてもらいつつ、行政サービスの改善に協力してもらいたい、という立場をとっています。これにより、地域企業などは収益を拡大を、また、市は就業率、納税率の向上を目指しています。
市から企業にデータを提供する事前に、市と地域企業との間で、データ活用の目的に関してよく話し合うことが必要です。



活用例 : DATA SF

サンフランシスコ市では、これまで200以上のデータを公開し、60以上のスマートフォンのアプリケーションを市民に提供しています。

提供されているアプリケーションの提供事例

Crimespotting : 犯罪の発生場所と種類を示してくれるインタラクティブマップ

CrimeReports : 指定された住所付近の犯罪データを Google Maps 上にプロット

Your Mapper : 犯罪データをインタラクティブマップ上にプロット

SpotCrime : 犯罪情報データベース

EveryBlock : 指定された住所の付近で起きたニュースを教えてくれる

CleanScores : 飲食店に対する衛生検査の結果を調べることができる

EcoFinder : ゴミの分別と、廃棄方法/リサイクル方法を教えてくれる

Routesy San Francisco : 交通機関の乗り換え案内

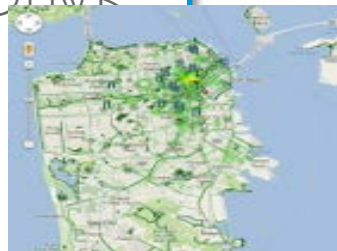
MuniApp : 市営交通機関の運行状況や、近くにあるバス停などを教えてくれる

BART Arrivals : BART (サンフランシスコの通勤用鉄道) の運行状況の提供

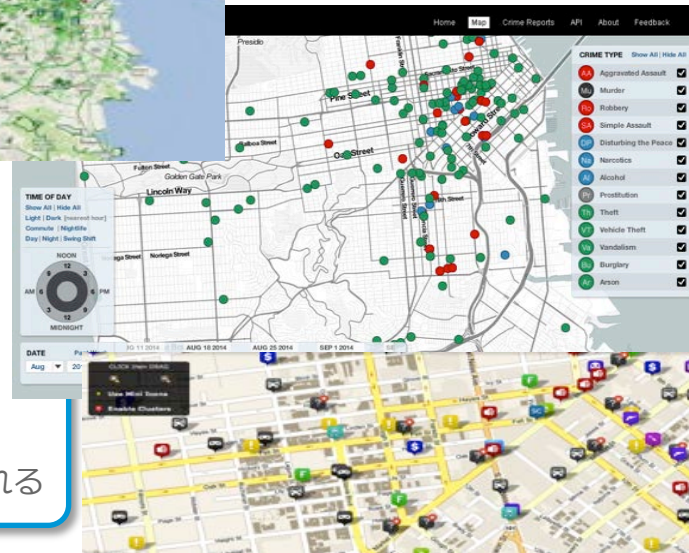
TrainSchedule : サンフランシスコ周辺の鉄道の時刻表を調べることができる

Dadnab : テキストメッセージベースの乗換案内

Mom Maps : サンフランシスコ周辺で、子どもと一緒に楽しめる施設を教えてくれる



“Crimespotting”アプリ画面



提言



日本の都市部は、スマートシティである

- 都市部と地方部、それぞれのスマートシティを考える
- 企業の壁があり、アプリケーション連携ができていない



スマートシティのマネタイズモデルを考える

- 実際、自治体の有しているデータを購入する組織があるか調査
- 高額で購入されるデータとは何か



新産業・新サービスの醸成

- 自治体のオープンデータを地場企業やベンチャー企業へ提供
- 企業が有するビッグデータの共有化（囲い込みを止め、社会へ還元する意識作り）



自治体が商売をしても許される風土を醸成する

- オープンデータ＝個人情報流出の意識改革
- サイネージによる広告収入

*THERE'S NEVER BEEN A
BETTER TIME
to make the impossible possible*





Appendix

スマートシティの 事例

- 時間の関係でご紹介できなかった海外の事例



2015年6月、ミズーリ州カンザスシティとシスコ、スプリントが都市サービスの
変革と市民体験の向上を目指し、スマートシティの構築に向けた協定に合意

1. プラットフォームの構築

- 無料公衆無線LAN
- キオスク端末
- Smart Lighting

2. Living Lab

- センサーやWi-Fiなどから得られたデータと多様な端末が連携した社会実験環境の構築

3. Public Private Partnership (官民連携)

- 今後10年間をかけて、安心安全、健康、環境に優しいスマートシティの構築に向け、カンザスシティの投資と、シスコや他の民間企業が投資

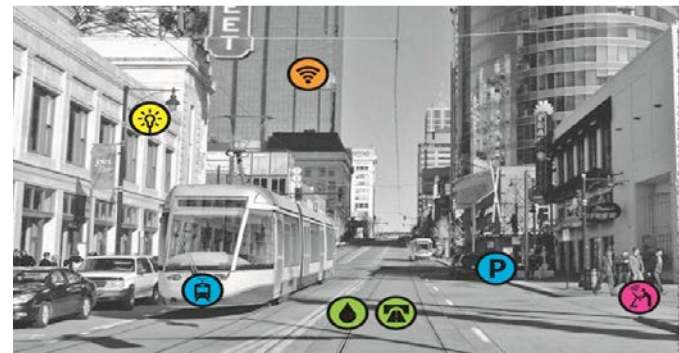


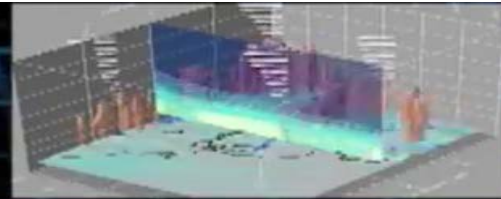
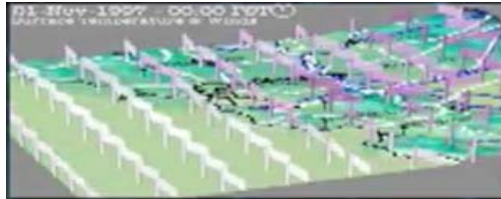
Figure 2 The initial proposal includes public WiFi, smart lighting and community kiosks. The platform can easily be expanded by adding smart transit, water, infrastructure and parking applications.

リオデジャネイロのスマートガバナンス

ブラジルは、2010年に大規模な洪水と地すべりの発生により甚大な被害を受けました。このような中、リオデジャネイロ市を挙げて危機管理システムの強化を実施しました。



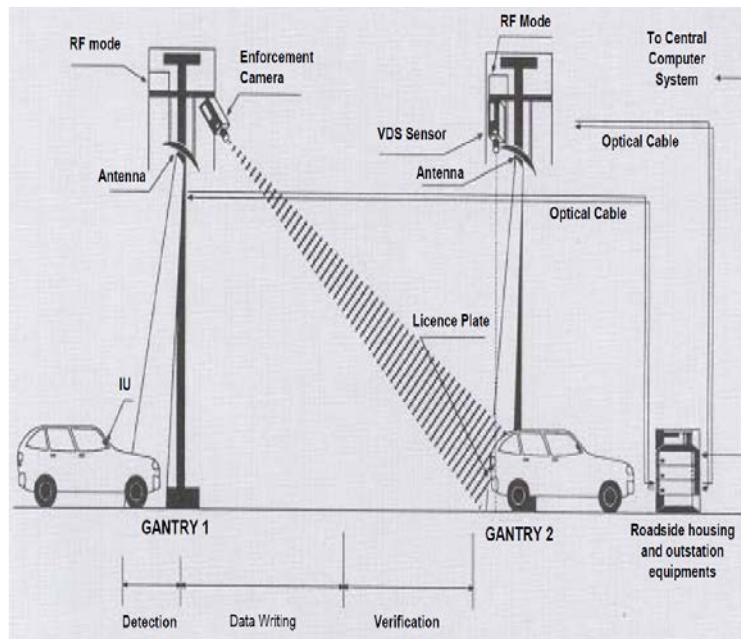
- ✓発生した災害情報に関連するすべての部門が一元的に把握することができるよう、各部門に集まってくるイベント情報を集約する
- ✓ダッシュボード機能の設置を設置したり、関連部門間とのコミュニケーションが迅速に行えるインスタント・メッセージング機能を導入する。
- ✓危機対応標準プロセスの整備、また地形も加味しながら24時間後の気象状況を高精細に予測する気象予報システムの導入も実施。



出所：
https://www.youtube.com/watch?v=iw-a_derXC0&feature=youtu.be
<http://enterprisezine.jp/iti/detail/4842?p=2>

シンガポール政府のスマートモビリティ

シンガポール政府は、すべての自動車に対して無線トランスポンダーを設置し、交通渋滞の解消を図っています。Intelligent Transport strategyの考えのもとで、道路状況に応じて混雑時の高速道路の課金を調整しています。



出所 :





http://www.stee.stengg.com/pdf/road_systems/electronic_road_pricing/ERP.pdf
<http://wired.jp/2014/09/28/new-system-to-make-congestion/>

実績紹介(スマートシティ) 1/3

ニース等下記案件では、シスコは「構想策定」フェーズから参画しています。

全体アプローチ概要







案件	概要	シスコ コンサルティング サービスの役割	参画時期、期間
 <p>ニース (フランス)</p>	<p>企業や人材の誘致によるイノベーション創出を目的として、市民向け行政サービスの高度化・行政の効率化を促進するために、スマートシティプロジェクトを実施している</p>	<ul style="list-style-type: none"> IoE戦略立案・実行支援(スマートシティ構想立案、実行支援) スマートサービス(キオスク、サイネージ、パーキング、自動ゴミ収集、ライティング等) 	<p>2011年からニース市スマートシティ構想に協力している</p>
 <p>シカゴ (アメリカ)</p>	<p>シカゴ市の安心・安全を担保し、市民生活の質の向上を目的に、2013年からスマートシティ構想を立案、実現に向けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> IoE戦略立案・実行支援(スマートシティ構想立案、実行支援) 行政のオープンデータ化支援、シカゴ警察へのICT支援(監視カメラ、スマートパトカー)等 	<p>2013年からシカゴ市を支援している</p>
 <p>マカオ (中国) <シティオブドリーム></p>	<p>Melco Crownが、26億ドルを投じ、2007年に完成した統合型カジノリゾートである。シスココンサルティングサービスがIT戦略を立案し、カジノ内の機器、ITを制御する仕組を構築した</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次世代IT戦略の立案、AMO(Architecture Management Office)を担当 複合的新型リゾート(ホテル×4、カジノ×3)のITエリアの設計・導入、品質管理を実行 	<p>2006年～2007年の期間でAMOを担当した</p>
 <p>ホーチミン (ベトナム) <タイムスクウェア></p>	<p>ホーチミン市1区Pham Ngu Lao通り1番地に建設された投資総額5億ドルの、ホーチミンで初のオフィス、アパートメントの複合ビル建築プロジェクトである(2012年着工、2015年完工)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 設計・導入フェーズにおいて、プログラムマネジメント、品質管理のサービスを提供 	<p>2010年～2012年に亘り、ICTマスタープランのPMOおよび品質管理を支援した</p>

実績紹介(スマートシティ) 2/3

バルセロナ等下記案件では、シスコは「サービス構築」フェーズから参画しています。

全体アプローチ概要







案件	概要	シスコ コンサルティング サービスの役割	参画時期、期間
 <p>バルセロナ (スペイン)</p>	<p>Wi-Fiを都市のICTの共通基盤として活用することにより、サービスや生活に変革がもたらされ、新たなイノベーションの創出により、産業の活性化や雇用の拡大につなげている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートサービス(パーキング、ライティング) ● ICTマスタープランの提供 ● 技術導入支援(2015年現在、クラウド、モビリティ、ビッグデータ/アナリティクス、セキュリティ) 	<p>2000年からバルセロナ市のスマートシティイニシアティブに関与し、支援している</p>
 <p>アムステルダム (オランダ)</p>	<p>アムステルダム市において、新たなビジネスを創造する環境を企業に提供し、行政サービスの付加価値を高めることで、市民生活の質の向上につなげている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートサービスの立案と導入 ● SOHO企業をターゲットに、「スマート・ワークセンター」を設置 ● スマートライティングの立案と導入 	<p>2006年からアムステルダム市を支援している</p>
 <p>ソンド (韓国)</p>	<p>2001年から韓国政府が350億ドルを投資し、IFEZを「Smart Connected City」と定め、IPネットワークを活用した公共サービスやビジネス、医療、教育等が実現できる環境造りを図っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートシティのサービス提供 ● ICTマスタープランを構築 ● サービス提供のためのIPインフラの設計 	<p>ソンド市のICTマスタープラン構築、スマートサービス導入は2009年から現在まで支援している</p>
 <p>ラスベガス (アメリカ) <MGMリゾート></p>	<p>ラスベガスにおいて46,633室の客室を有する統合型リゾートである。Wi-Fiを基盤としたインドアの位置情報サービス、パーソナライズされたアプリサービスを実現できるモバイルソリューションを顧客に提供している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートサービスの立案、PMO(Project Management Office)を担当 ● コネクテッドモバイルエクスペリエンスのソリューションによるサービス立案を行った 	<p>2012年～2013年の期間でPMOを担当した</p>

実績紹介(スマートシティ) 3/3

香港等下記案件では、シスコは「ICTプラン策定」フェーズから参画しています。

全体アプローチ概要



案件	概要	シスコ コンサルティング サービスの役割	参画時期、期間
 <p>香港 〈サイバーポート〉</p>	<p>サイバーポートは薄扶林(Pukfulam)に、香港政府と長江集団が共同で130億ドルを投資して建設された。(2002-07年)アジアのICTハブになることを目標とし、ICT企業、スタートアップ企業の誘致、育成、協働を目的としている</p>	<ul style="list-style-type: none"> データセンタ構築、PMO(Project Management Office)を担当 香港政府主導のICTハブ構築をサポートし、テクノロジーのスタートアップ、インキュベーションを促進 	<p>2001年～2007年に亘り、サイバーポート全4フェーズおよびデジタルメディアセンター構築のPMOを実行した</p>
 <p>イスカンダール (マレーシア)</p>	<p>デジタルマレーシアマスタープランに基づき、地域経済の発展を目指して、イスカンダールのNusajaya地区をスマートコネクテッドコミュニティに変革している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ICT マスタープランの提供 新経済ハブとしてのマレーシアイスカンダールへのサービスを提供 	<p>2011年～2013年に亘り、ICTマスタープランを構築、提供した</p>
 <p>デリー・ムンバイ (インド) 〈産業回廊〉</p>	<p>デリー・ムンバイ間に鉄道を敷設し、周辺に工業団地・物流基地・発電所・住居等のインフラを整備する地域開発である。シスコは、Dholera Special Investment Regionなど、DMIC4地区のICTマスタープランを構築している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ICTマスタープランの提供 24都市、6空港、3港湾をつなぐインド最大の回廊へのICTマスタープランを構築 	<p>2011年から現在に至るまでDMICの4地区のスマートシティ構築に従事している</p>
 <p>成都・重慶 (中国)</p>	<p>2008年～2011年の3年間に亘る、四川省におけるICTを活用した医療・教育・労働力の地域活性化のプロジェクトである</p>	<ul style="list-style-type: none"> 成都クラウドプラットフォーム構築(成都政府、医療、教育、交通機関等のクラウド) 重慶におけるビデオ監視システムの構築 	<p>2008年～2011年に亘り、成都・重慶のスマートサービス(教育、医療)構築を支援した</p>